

高校期からの全身症状と脱ステロイド後の浸出を経て化粧が可能になった成人アトピーの経過
(22 歳 成人)

症例 ID : 001-20-MR3 | 記録日 : 2017 年 3 月 7 日

1. 診断・治療前経過

幼少期から関節部に軽い症状がありましたが、高校2年春頃に足、腕、全身へ強い発疹とかゆみが出ました。松本医院に至るまで複数の皮膚科を受診し、ステロイドやプロトピック、漢方、脱ステロイド・脱保湿を経験されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ステロイド外用薬とプロトピックを使用しました。
製品名	プロトピック。ステロイド製品名は不明です。
強度	不明です。
使用期間	高校期以降、断続的に使用しました。
中止時期	脱ステロイド・脱保湿を行った時期に中止しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期	軽症	関節部に軽い症状がありました。
高校2年春	悪化	足、腕、全身に痒みを伴う発疹が広がりました。
大学入学後	脱ステ・脱保湿1回目	汁、顔の赤み、痛み、寒気、食欲低下がみられました。
その後	脱ステ・脱保湿2回目	1回目より強い浸出、臭い、落屑、全身のつっぱりがありました。
松本医院受診後	治療開始	漢方と抗ウイルス薬で治療を開始しました。
治療経過中	変化	落屑の色が変化し、傷が小さくなりました。
治療2年目	経過中	顔の赤みが引き、化粧ができる状態となりました。

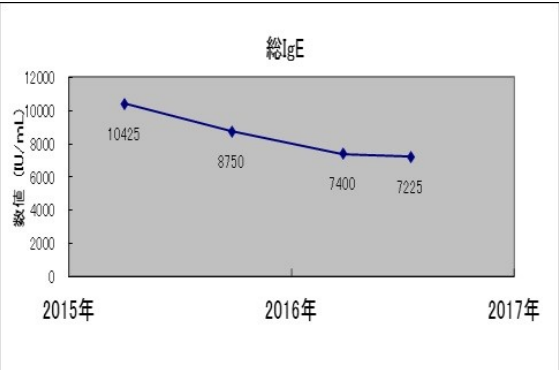
4. ピーク時期

ピークは、2回目の脱ステロイド・脱保湿時に、全身の浸出液、強い落屑、痛み、だるさ、食欲低下が重なった時期です。

5. 困りごと

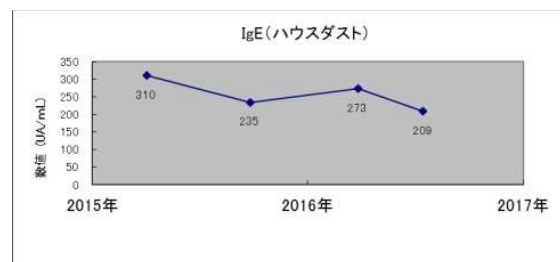
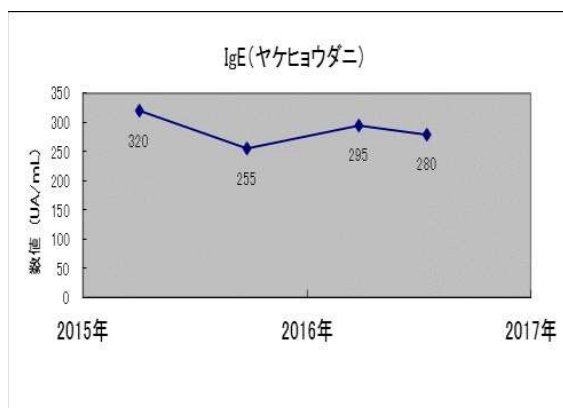
- ・全身のつっぱりと痛みで動くことが難しい時期がありました。
- ・浸出液と落屑、臭いによる生活上の負担がありました。
- ・顔の赤みや皮膚症状により外見面の負担がありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

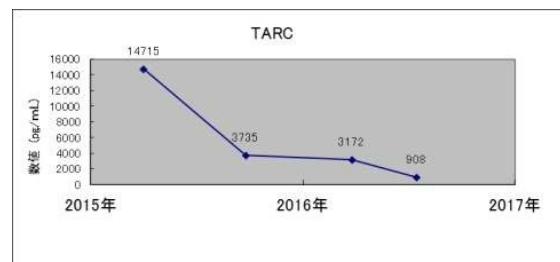
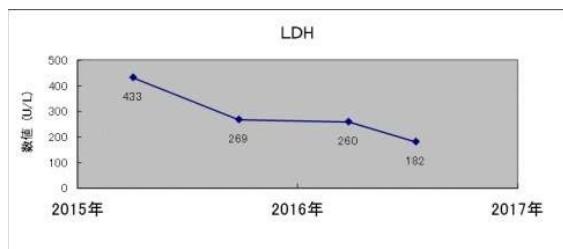


経過中の画像記録。

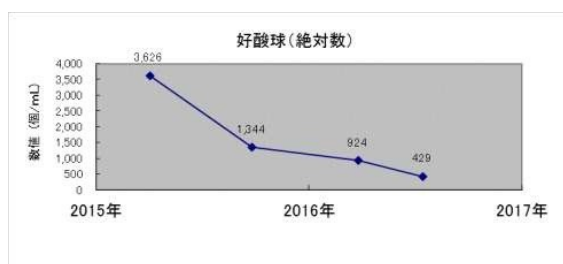
経過中の画像記録。



経過中の画像記録。



経過中の画像記録。



経過中の画像記録。

7. 経過のまとめ

治療開始後、落屑や傷の状態が変化し、顔は化粧ができる程度まで改善しました。

治療2年目時点では、症状は強かった時期に比べ大きく軽減し、治療を継続していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。

症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。